

# VRG

Valuation Research Group



---

## Oil & Gas Industry Credential Presentation

---

	ページ
<b>VRGの概要</b>	3
VRGのサービス、プロフェッショナル及びクライアント	4
石油・ガス及びMLP事業におけるサービス領域	5
マスター・リミテッド・パートナーシップ (MLP)	6
クライアント：MLP	7
クライアント：上流（探鉱と生産）	8
クライアント：中流（収集及び加工処理、貯蔵輸送）	9
クライアント：下流（精油所）	10
クライアント：フィールドサービス	13
VRGのオフィスロケーション	14

**Valuation Research Group (VRG)**はV米国のヴァリュエーション・リサーチ・コーポレーション（Valuation Research Corporation : VRC）を中心とした国際的ビジネスコミュニティを通じて、質の高いヴァリュエーションと価値関連サービスを提供いたします。約1000名の専門家でグローバルネットワークを構成しており、いままで企業価値、無形資産、不動産、動産に関する独立した専門家としての意見を提供し定評を得ています。RGの専門家は、60か国以上の国でクライアントにサービス提供をしてきた実績をもっています。

多国間にまたがる契約では、窓口を統一するとともに、それぞれの国に所在する専門家によって実行されます。VRGの評価専門家は、地域の経済、言語、文化、法的枠組みに関する十分な知識を有しており、特定の国における特有の税務および財務報告の要件だけでなく、U.S.GAAPの要件も理解しています。VRGの専門家は優れたマネジメントスキルを有し、クライアントに必要な期限内に成果物を提供しております。



## 主要サービス

### トランザクション関連サービス

- 合併、買収及び売却支援サービス
- ソルベンシー・オピニオン
- フェアネス・オピニオン
- 自己資本充実度評価

### ポートフォリオ・バリュエーション

- 非流動的な投資資産の評価
- ASC 820 (公正価値による測定)の適用
- 取引目的の評価

### 財務報告のためのサービス

- ASC 820 – 公正価値
- ASC 350/360 – 減損
- ASC 805 – 企業結合
- ASC 718 – ストックオプション
- フレッシュスタート法のための評価

### プロフェッショナル群

高度なスキルを有するシニアプロフェッショナルは、初期のクライアントディスカッションから最終的なご提案までの業務のすべての段階に従事します。VRGの専門家は、一定以上の豊かな経験を有し、大部分の専門家が会計、経済、財務、統計、不動産及び動産分野におけるバックグラウンドを持ち、CFA, CPA, MAI, ASA, MRICSなどの高度な認定を保持しています。

### クライアント

我々は確固たる顧客基盤を有し、クライアントは大企業から小規模な非公開企業まで多岐に渡っています。さらに、VRGは、米国内および海外の投資銀行会社、プライベート・エクイティ・ファーム、法律事務所、会計事務所、レンダーと長年にわたりリレーションを構築しております。

### 有形資産及び無形資産評価

- 担保に供される固定資産
- 保険価値
- 不動産
- 機械設備
- 知的財産
- のれん

### 税務関連サービス

- 移転価格検討
- パーチェスアロケーションのための評価
- コストセグリゲーション
- 従価税算定のための評価
- 贈与/遺産税
- 多国間法人税
- Section 409A – 割引ストックオプション

VRGの評価専門家チームは、上流の探鉱・生産、油田施設から中流、下流の企業に至るまでのエネルギー各分野にわたって有形資産評価の専門知識を有しています。  
我々は、下記の分野において石油・ガス&MLP(\*)の顧客に対して評価及び評価関連サービスを提供しております。

上流：探鉱と生産	下流
<ul style="list-style-type: none"> <li>海上/内陸 掘削リグ</li> <li>抗井生産</li> <li>ガス抽出施設</li> <li>パイプライン</li> <li>ポンプ/コンプレッサーステーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>精油所</li> <li>貯蔵施設</li> <li>化学プラント</li> <li>サービスステーション(小売)</li> <li>パイプライン</li> </ul>
中流	油田施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>パイプライン</li> <li>ポンプ/コンプレッサーステーション</li> <li>加工/処理プラント</li> <li>貯蔵施設(石油貯蔵施設, プロパンタンク)</li> <li>輸送及び牽引設備</li> <li>地下天然塩洞窟と貯水池</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境及び流体処理</li> <li>油井, 維持管理, 建設及びケーブルライン</li> <li>掘削用地, レンタル設備及び住宅ユニット</li> <li>トラック, トラクターその他設備</li> </ul>

\* MLP

- MLPは「マスター・リミティッド・パートナーシップ」の略称であり、米国で行われている共同投資事業形態の一種です。
- 1980年代に米国で生まれ、エネルギーインフラへの投資促進を目的として発展してきた制度です。

マスター・リミテッド・パートナーシップ協会（MLPA）の一員であるVRCは、石油・ガスの中流、下流、プロパンおよび石炭事業に従事する天然資源マスターリミテッドパートナーシップ（MLP）に対して独立した第三者の評価および鑑定サービスを提供するリーディングプロバイダーです。

MPLの形成および運用は、さまざまな税務および財務報告要件のサポートのために、多くの評価/評価ニーズが生じます。（たとえば、米国の内国歳入法 Internal Revenue Code (IRC) Sections 704(c), 734(b), 754, 1060 及び 米国会計基準 Accounting Standards Codification (ASC) 805, 350, 360) 組成時およびIPO前に、MLPは、MLPに対し提供される資産（すなわち、有形および無形資産）の公正市場価値を確立する必要があります。これらの価値は、MLPの税金控除計算の入力として、また資産の初期課税ベースとの比較として、MLPとその税務および法務アドバイザーによって使用されます。

IPO後の継続的な資産取得は、MLPの成長と将来の現金配当には不可欠です。かかる取得は、買い取りのための取得原価の配分を支援するために取得した資産の公正価値の決定を要求するASC 805「企業結合」の規定に従い会計処理されなければならない。さらに、MLPは、ASC 350(無形資産およびその他ののれん)におけるのれんおよびその他の無形資産、ASC 360(プラント、不動産および設備)における長期性資産に関する定期的な減損テストの実施を支援するために、第三者評価専門家を利用することがよくあります。

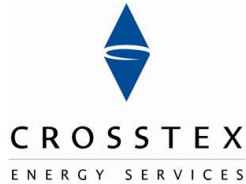
親会社/スポンサーからの資産のドロップダウン（売却）も、MLPの成長戦略の重要な部分となる可能性があります。このような資産の取引は、フェアネス・オピニオンをサポートするため評価の必要性を生じさせます。フェアネス・オピニオンは、取引で提供された対価が財務的観点からMLPの非リミテッド・パートナーにとって公正であるかどうかを示すレターです。親会社/スポンサーからMLPへ資産売却するなどの取引が関連当事者に関係する場合、親会社/スポンサーが不公平な内部取引の告発を受けるのを防ぐためにフェアネス・オピニオンが必要となります。

VRCの25年以上にわたるMLPコミュニティでの経験と、独立した国際的な評価会社としての評判は、評価ニーズを満たす高品質で費用対効果の高いソリューションを顧客に提供するのに役立っています。









<b>Refinery</b>	<b>Location</b>	<b>BPSD</b>
Alliance Refinery	Belle Chase, LA	250,000 bpsd
Bayway Refinery	Linden, NJ	300,000 bpsd
Ferndale Refinery	Ferndale, WA	95,000 bpsd
Los Angeles Refinery	Carson and Wilmington, CA	132,000 bpsd
Rodeo Refinery	Rodeo, CA	119,000 bpsd
San Francisco Area Refinery	Arroyo Grande, CA and San Francisco Bay	109,000 bpsd
Trainer Refinery	Trainer, PA	190,000 bpsd
Wilmington Refinery	Los Angeles, CA	130,000 bpsd
Wood River Refinery	Roxana, IL	310,000 bpsd









Valuation Research Group



ValuationResearch.com  
VRG.net

### **Buenos Aires**

Vuelta de Obligado 2728 | Piso 2  
Buenos Aires C1428 ADT  
Argentina

### **Chicago**

200 W Madison St | Suite 2110  
Chicago, IL 60606  
USA

### **Frankfurt**

Rennbahnstraße 72-74  
60528 Frankfurt am Main  
Germany

### **Hong Kong**

6/F Pacific Place Three  
1 Queen's Road East  
Hong Kong

### **Colombia**

Calle 16 No. 41-210  
Ed. La Compañía, Of.605  
Medellin, Colombia

### **London**

10 Greycoat Place | Victoria  
London SW1P 1SB  
United Kingdom

### **Luxembourg**

31 Boulevard Marcel Cahen  
L-1311  
Luxembourg

### **Madrid**

Alcalá, 265, Edificio 2  
28027 Madrid  
Spain

### **Monterrey**

Ricardo Cantu Leal #115 | Colonia LTH  
Col. Florida  
Monterrey, N.L. | C.P. 64830  
Mexico

### **Mumbai**

21-23, T.V. Industrial Estate, 248-A | S.K. Ahire Marg  
Off. Dr. A. B. Road, Worli  
Mumbai – 400 030  
India

### **New York**

500 Fifth Avenue | 39th Floor  
New York, NY  
USA

### **Sao Paulo**

Rua Paes Leme, 524 - 12º Andar - Pinheiros  
CEP 05424-904 São Paulo SP  
Brazil

### **Sydney**

Level 11, 65 York Street,  
Sydney NSW 2000  
Australia

### **Toronto**

445 Apple Creek Boulevard, Suite 223  
Markham, ON L3R 9X7  
Canada

### **Tokyo**

Akasaka Intercity, 1-11-44  
Akasaka, Minato-ku, Tokyo  
107-0052  
Japan